

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第16週[4月19日~4月25日]

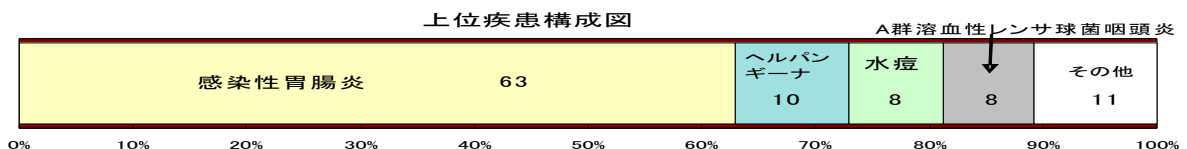
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：なし

- ・ 週の前半は晴れて25℃を超える夏日となる地域もあった。
- ・ 感染性胃腸炎（高幡：注意報，中央西：注意報）は高知市から幡多にかけての地域で増加し，総数は1.2倍に増加した。
- ・ ヘルパンギーナ（高知市：注意報）はさらに前週の約2倍に増加し，高知市では注意報値を超した。
- ・ 水痘（安芸：注意報）は高知市，高幡，幡多で減少し，総数はやや減少した。しかし，その他の地域では増加し，安芸で注意報値を超した。
- ・ 手足口病（中央西：注意報→注意報）は総数は2倍増となり，中央西では注意報値を超す流行が続いている。
- ・ インフルエンザは1例（8歳女）の報告があり，簡易キットでA型陽性となっている。



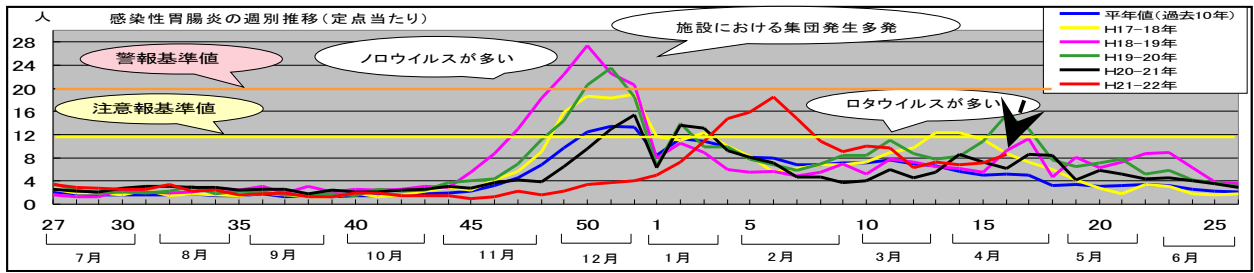
地域別感染症注意報・警報発生状況

第16報 (2010年4月19日~2010年4月25日)



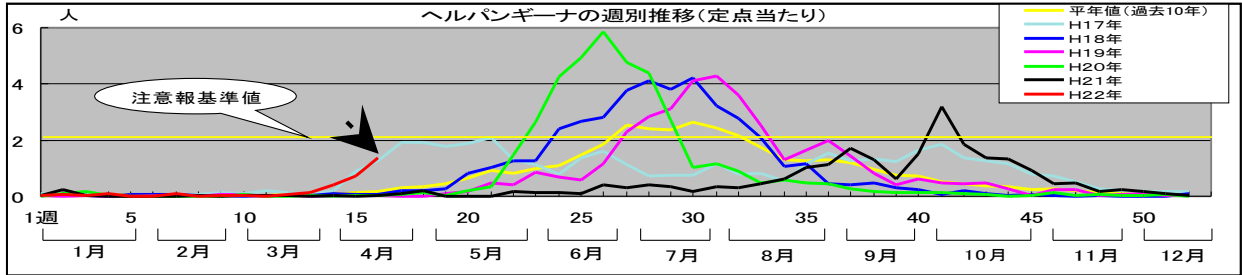
感染性胃腸炎：今週8.57 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

総数は1.2倍に増加し，中央西と高幡で注意報値を超した。搬入された検体からはNorovirus GII 2件，Sapovirus 1件，Rotavirus 1件，*Staphylococcus aureus* 1例と様々な病原体が検出されている。



ヘルパンギーナ：今週1.37（注意報値：2.00 警報値：4.00）

安芸と幡多を除く地域で増加し、総数はさらに増加した。例年同時期と比較して、最も多い報告数となっており、今後の推移が注目される。



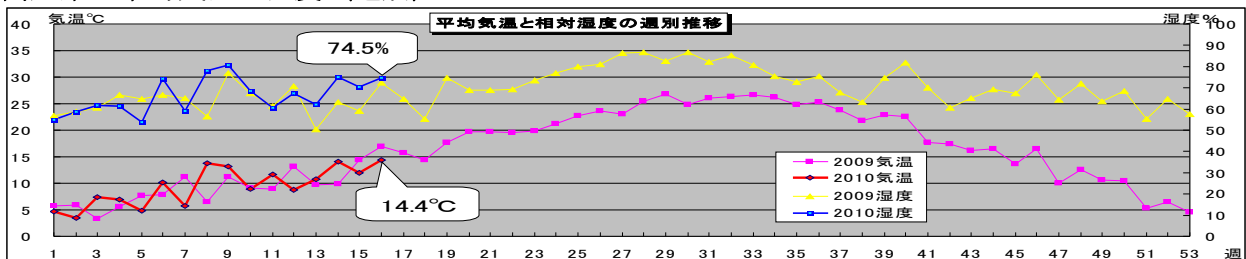
○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
16	感染性胃腸炎	1歳男	中央東	Sapovirus
14	感染性胃腸炎	1歳男	高知市	Norovirus GII
15	感染性胃腸炎	2歳男	高幡	Rotavirus A群
15	感染性胃腸炎	3歳男	高幡	Norovirus GII
14	感染性胃腸炎	3歳女	中央東	<i>Staphylococcus aureus</i>
15	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6歳女	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-12
16	百日咳疑い	7ヵ月女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 3例（86歳男）《中央東》（68歳女，75歳男）《高知市》（今年47例）
 4類感染症：レジオネラ症 1例（76歳男）《高知市》（今年1例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

- 幡多：**
《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの1例（8歳女）はA型陽性
- 高幡：**
《もりはた小児科》：感染性胃腸炎はロタウイルスによるものが多い
アデノウイルス感染による滲出性扁桃炎 2例
- 中央西：**
《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（1歳女）は久万高原町
- 高知市：**
《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス扁桃炎 1例（2歳女）
カンピロバクター腸炎 1例（18歳男）
- 中央東：**
《早明浦病院小児科》：感染性胃腸炎（発熱伴う）が引き続き増多
（アデノウイルス，ロタウイルスは陰性）

全国情報第14週 (4/5～4/11) (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

2類感染症：結核245例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症21例（有症者13例、うちHUS なし）、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎16例〔*第10週以降、報告数は依然として多い。第10～14週の累積報告数は81例（劇症肝炎2例、うち死亡1例）となり、都道府県別では、福岡県16例、広島県15例、東京都11例の順に多い。81例のうち、感染源として、カキ35例、貝類3例などが推定されている。広域アウトブレイクの可能性もあり、引き続き注意を要する。〕、デング熱1例、日本紅斑熱1例、ブルセラ症1例、マラリア1例、レジオネラ症6例

5類感染症：アメーバ赤痢6例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群12例（AIDS 1例、無症候10例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒7例、破傷風2例、風しん1例、麻しん10例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、オウム病1例、デング熱1例、マラリア1例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例

◆感染性胃腸炎関連ウイルス2009/10シーズン

2009/10シーズンに入ってからからの病原体個票による報告では、2009年第36週～2010年第15週にノロウイルスgenogroup (G) I 156件（うち、GI/2 1件、GI/4 20件、GI/7 2件、GI/8 15件、GI/12 1件、NT 117件）、GII 1,667件（うち、GII/1 1件、GII/2 169件、GII/3 32件、GII/4 255件、GII/6 15件、GII/72件、GII/12 11件、GII/13 2件、GII/14 4件、NT 1,176件）、G不明169件、サポウイルス51件（うち、GI 8件、GII 7件、NT 36件）、SRSV（電顕で検出）2件、A群ロタウイルス149件（うち、G1 3件、G3 12件、G9 2件、NT 132件）、アストロウイルス3件（1型1件、3型2件）が検出されている。

ノロウイルスは2009年中は例年に比べ検出報告数が少なかったが、2010年に入ってから増加している。ロタウイルスは例年同様、第15週現在報告が増加中である。

◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

新型インフルエンザウイルスAH1pdmは2009年第19週に採取された検体から最初に検出され、第20週以降検出数が増加した。第28週以降は毎週500件を超える報告が続いたが、2010年第4週以降減少した。

2009/10シーズンは、AH1pdmが2009年第36週～2010年第15週に全都道府県から21,423件報告されている。AH3亜型は第36～44週に10道県から15件報告され、その後16週間報告がなかったが、第8～14週に7県から16件報告されている。B型は2009年第29週以降報告がなかったが、山形系統株が第47週に大阪府から1件、第2週に滋賀県から1件、第9～10週に2道県から4件、第13週に三重県から2件、ビクトリア系統株が第50週に新潟県から1件、第3～13週に10都道県から60件、系統不明株が第5～14週に4都県から8件報告されている。AH1亜型は第36週以降報告されていない。

このうち、輸入例からの分離・検出が38件（AH1pdm 34件、AH3亜型4件）報告されている。

直近の2010年第11～15週の5週間ではAH1pdmが20府県から63件、AH3亜型が10件（兵庫県から4件、千葉県から2件、茨城県、栃木県、広島県、熊本県から各1件）、B型はビクトリア系統株が24件（広島県から11件、北海道から7件、神奈川県、愛知県から各2件、兵庫県、佐賀県から各1件）、山形系統株が2件（三重県）、系統不明株が4件（東京都から3件、秋田県から1件）報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計) H22/1/4~H22/4/25
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ						1	1 (0.02)	1 (0.02)	683 (0.14)	2,542 (52.96)
小児科	咽頭結膜熱						3	3 (0.10)	2 (0.07)	548 (0.18)	20 (0.67)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	17	4	2	5	30 (1.00)	12 (0.40)	4,116 (1.36)	340 (11.33)
	感染性胃腸炎	14	32	121	39	27	24	257 (8.57)	213 (7.10)	27,242 (8.99)	4,887 (162.90)
	水痘	6	5	11	5		7	34 (1.13)	44 (1.47)	4,986 (1.65)	549 (18.30)
	手足口病		1	3	11			15 (0.50)	7 (0.23)	1,673 (0.55)	54 (1.80)
	伝染性紅斑								1 (0.03)	790 (0.26)	26 (0.87)
	突発性発疹		7	6		2	2	17 (0.57)	9 (0.30)	1,846 (0.61)	148 (4.93)
	百日咳								1 (0.03)	78 (0.03)	16 (0.53)
	ヘルパンギーナ		12	23	5	1		41 (1.37)	22 (0.73)	397 (0.13)	93 (3.10)
	流行性耳下腺炎	1		3				4 (0.13)	6 (0.20)	3,400 (1.12)	66 (2.20)
	RSウイルス感染症								3 (0.10)	660 (0.22)	754 (25.13)
眼科	急性出血性結膜炎									10 (0.01)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	3 (1.00)	354 (0.52)	15 (5.00)
基幹	細菌性髄膜炎									10 (0.02)	2 (0.29)
	無菌性髄膜炎								1 (0.14)	22 (0.05)	3 (0.43)
	マイコプラズマ肺炎			2				2 (0.29)		137 (0.30)	14 (2.00)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 (0.14)	5 (0.01)	4 (0.57)
計 (小児科定点当たり人数)		22 (11.00)	58 (8.29)	188 (16.73)	64 (21.33)	32 (16.00)	42 (8.33)	406 (13.39)			
前週 (小児科定点当たり人数)		23 (11.50)	63 (9.00)	126 (10.97)	47 (15.67)	31 (15.50)	38 (7.60)		326 (10.69)	46,957	9,535 (284.73)

定点当たり

第16週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ						0.13	0.02	0.02
小児科	咽頭結膜熱						0.60	0.10	0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	1.55	1.33	1.00	1.00	1.00	0.40
	感染性胃腸炎	7.00	4.57	11.00	13.00	13.50	4.80	8.57	7.10
	水痘	3.00	0.71	1.00	1.67		1.40	1.13	1.47
	手足口病		0.14	0.27	3.67			0.50	0.23
	伝染性紅斑								0.03
	突発性発疹		1.00	0.55		1.00	0.40	0.57	0.30
	百日咳								0.03
	ヘルパンギーナ		1.71	2.09	1.67	0.50		1.37	0.73
	流行性耳下腺炎	0.50		0.27				0.13	0.20
	RSウイルス感染症								0.10
眼科	急性出血性結膜炎								
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	1.00
基幹	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎								0.14
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.29	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.14
計 (小児科定点当たり人数)		11.00	8.29	16.73	21.33	16.00	8.33	13.39	
前週 (小児科定点当たり人数)		11.50	9.00	10.97	15.67	15.50	7.60		10.69

2010年週報推移(定点当たり)

